

注3

大学番号：074

[平成31年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置又は課程の変

注1

事前伺い

九州工業大学 大学院工学府 工学専攻

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人九州工業大学
令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 学長企画室

職名・氏名 センモンショクイン オダ ヨシコ
専門職員・小田 佳子

電話番号 093-884-3654

（夜間） 093-884-3654

FAX 093-884-3015

e-mail sou-senryaku@jimu.kyutech.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

大学院工学府

＜工学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	14
6. 附帯事項等に対する履行状況等	37
7. その他全般的事項	38

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

国立大学法人九州工業大学

(2) 大 学 名 九州工業大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒804-8550
福岡県北九州市戸畑区仙水町1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(フリガナ) 氏 名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏 名 (現職就任年月)	
学 長	(オイエ ユウジ) 尾家 祐二 (平成28年4月)		
学 府 長	(セリカワ セイイチ) 芹川 聖一 (平成28年4月)		
専 攻 長	(ナカオ モトイ) 中尾 基 (平成31年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称（学位）	学位又は学科の 分野	設 置 時 の 計 画				備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
大学院工学府 工学専攻 修士（工学）	工学関係	2年	278人	年次 人	556人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員 超 過 率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 278 (-) [-]	人	人 () []	人	人 () []	人	人 () []	人	人 () []	人 () []	0.99倍	—	
志願者数	368 (-) [14]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
受験者数	356 (-) [14]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
合格者数	292 (-) [10]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
B 入学者数	276 (-) [10]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []			
入学定員超過率 B/A	0.99												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際には小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	276 [10] (-)	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2 年次			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3 年次					[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4 年次							[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計	276 [10] (-)		[] ()		[] ()		[] ()		[] ()		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ () 内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和元年度	276 人	0 人	令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
合 計		0 人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)

・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。

・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数 (a)}}{\text{令和元年度の在学者数 (b)}} = \frac{0}{276} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数 (a)}}{\text{令和2年度の在学者数 (b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数 (a)}}{\text{令和3年度の在学者数 (b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数 (a)}}{\text{令和4年度の在学者数 (b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数 (a)}}{\text{令和5年度の在学者数 (b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜大学院工学府 工学専攻＞

(1) ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
上級 教養 科目	知的財産論	1・2前		2							5
	MOT特論	1・2後		2							11
	産業組織特論A	1・2前		1							1
	産業組織特論B	1・2前		1							1
	近現代産業文化史特論	1・2前		1							1
	ジェンダー史特論	1・2前		1							1
	持続可能社会と教育特論	1・2前		1							1
	マイノリティの人権特論	1・2前		1							1
	史的文明論と社会論Ⅰ	1・2後		1							1
	史的文明論と社会論Ⅱ	1・2後		1							1
	メンタルヘルス論	1・2後		1							1
	現代哲学概論	1・2後		1							1
環境学特論	1・2前		1							1	
小計(13科目)	—										
上級 語学 科目	英語ⅦC	1・2前後		1							1
	英語ⅦD	1・2前後		1							1
	英語ⅧA	1・2後		1							1
	英語ⅧD	1・2後		1							1
	英語ⅨA	1・2前		1							1
	英語ⅨD	1・2前		1							1
	英語ⅩA	1・2後		1							1
	英語ⅩB	1・2前		1							1
	英語ⅩD	1・2後		1							1
	選択英語1T	1・2通		1							1
	選択英語2T	1・2通		1							1
	選択英語3T	1・2通		1							1
	選択英語4T	1・2後		1							1
	日本語Ⅰ	1・2前		1							1
	日本語Ⅱ	1・2後		1							1
	日本語入門	1・2後		1							1
小計(16科目)	—										
実 践 実 習 科 目	大学院国際協働演習	1・2通		1		1					
	大学院海外研修Ⅰ	1・2通		1		1					
	大学院海外研修Ⅱ	1・2通		2		1					
	大学院海外インターンシップ実習Ⅰ	1・2通		1		1					
	大学院海外インターンシップ実習Ⅱ	1・2通		2		1					
	大学院海外インターンシップ実習Ⅲ	1・2通		1		1					
	大学院国内インターンシップ実習Ⅰ	1・2通		2		1					
	大学院国内インターンシップ実習Ⅱ	1・2通		2		1					
	学外実習Ⅰ	1・2通		1		1					
	学外実習Ⅱ	1・2通		2		1					
	学外演習Ⅰ	1・2通		1		1					
	学外演習Ⅱ	1・2通		2		1					
	宇宙環境試験ワークショップ	1・2前		1		1					
	宇宙システムPBLⅠ	1・2後		1		1					
	宇宙システムPBLⅡ	1・2後		1		1					
プレゼンテーション	1・2通		2		1						
小計(15科目)	—										
数 理 情 報 科 目	強化学習特論	1・2後		2				1			
	組み込みシステム特論	1・2前		2		1					
	ソフトウェア設計開発特論	1・2後		2							
	視覚画像認識特論	1・2後		2				1			
	現代数学特論	1・2前		2		3		3			
	計算数学特論	1・2後		2		1					
	計画数学特論	1・2前		2		1					
	非線形解析学特論	1・2後		2		1					
	応用解析特論	1・2後		2				1			
	応用幾何学特論	1・2前		2				1			
	応用代数学特論	1・2前		2				1			
	量子力学特論	1・2前		2		1					
	量子物性特論	1・2後		2		1					
	物性物理学特論	1・2後		2				1			
	固体物理学特論	1・2後		2				1			
	超伝導工学特論	1・2前		2		1					
	半導体薄膜電子デバイス特論	1・2後		2		1					
	ナノ構造光物性特論	1・2前		2				1			
	小計(18科目)	—									

【令和元年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
上級 教養 科目	知的財産論	1・2前		2								5
	MOT特論	1・2後		2								9
	産業組織特論A	1・2後		1								1
	産業組織特論B	1・2後		1								1
	近現代産業文化史特論	1・2後		1								1
	ジェンダー史特論	1・2後		1								1
	持続可能社会と教育特論	1・2前		1								1
	マイノリティの人権特論	1・2前		1								1
	史的文明論と社会論Ⅰ	1・2前		1								1
	史的文明論と社会論Ⅱ	1・2前		1								1
	メンタルヘルス論	1・2後		1								1
	現代哲学概論	1・2前		1								1
	環境学特論	1・2前		1								1
小計(13科目)	—											
上級 語学 科目	英語ⅦC	1・2前後		1								1
	英語ⅦD	1・2前後		1								1
	英語ⅧA	1・2後		1								1
	英語ⅧD	1・2後		1								1
	英語ⅨA	1・2後		1								1
	英語ⅨD	1・2前		1								1
	英語ⅩA	1・2前		1								1
	英語ⅩB	1・2前		1								1
	英語ⅩD	1・2後		1								1
	選択英語1T	1・2通		1								1
	選択英語2T	1・2通		1								1
	選択英語3T	1・2通		1								1
	選択英語4T	1・2後		1								1
	日本語Ⅰ	1・2前		1								1
	日本語Ⅱ	1・2後		1								1
	日本語入門	1・2後		1								1
小計(16科目)	—											
実 践 実 習 科 目	大学院国際協働演習	1・2通		1		1						
	大学院海外研修Ⅰ	1・2通		1		1						
	大学院海外研修Ⅱ	1・2通		2		1						
	大学院海外インターンシップ実習Ⅰ	1・2通		1		1						
	大学院海外インターンシップ実習Ⅱ	1・2通		2		1						
	大学院国内インターンシップ実習Ⅰ	1・2通		1		1						
	大学院国内インターンシップ実習Ⅱ	1・2通		2		1						
	学外実習Ⅰ	1・2通		1		1						
	学外実習Ⅱ	1・2通		2		1						
	学外演習Ⅰ	1・2通		1		1						
	学外演習Ⅱ	1・2通		2		1						
	宇宙環境試験ワークショップ	1・2前		1		1						
	宇宙システムPBLⅠ	1・2後		1		1						
	宇宙システムPBLⅡ	1・2後		1		1						
	プレゼンテーション	1・2通		2		1						
小計(15科目)	—											
数 理 情 報 科 目	強化学習特論	1・2後		2				1				
	組み込みシステム特論	1・2前		2		1						
	ソフトウェア設計開発特論	1・2後		2			1					
	視覚画像認識特論	1・2後		2			1					
	現代数学特論	1・2前		2		3	3					
	計算数学特論	1・2後		2		1						
	計画数学特論	1・2前		2		1						
	非線形解析学特論	1・2後		2		1						
	応用解析特論	1・2後		2			1					
	応用幾何学特論	1・2前		2			1					
	応用代数学特論	1・2前		2			1					
	量子力学特論	1・2前		2		1						
	量子物性特論	1・2後		2		1						
	物性物理学特論	1・2後		2			1					
	固体物理学特論	1・2後		2			1					
	超伝導工学特論	1・2前		2		1						
	半導体薄膜電子デバイス特論	1・2後		2		1						
	ナノ構造光物性特論	1・2前		2			1					
小計(18科目)	—											

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門 科目	構造解析学特論	1・2前		2		1					
	建設材料学	1・2前		2			1				
	建築学特論	1・2前		2		2	1				
	材料力学特論	1・2後		2		1					
	構造力学特論	1・2後		2		1					
	コンクリート工学特論	1・2後		2			1				
	建築構造特論	1・2後		2		1					
	建築計画特論	1・2前		2			1				
	建築環境特論	1・2前		2							1
	建築デザイン特論	1・2後		2		1					
	国土デザインと景観工学	1・2後		2		1					
	道路交通環境	1・2後		2		1					
	水工学特論	1・2前		2		1					
	地盤工学特論Ⅰ	1・2前		2		2					
	地盤工学特論Ⅱ	1・2後		2		1					
	バリアフリー交通論	1・2後		2			1				
	環境保全と生態工学	1・2後		2		1					
	河川工学特論	1・2後		2			1				
	数値水理学	1・2前		2			1				
	地盤防災工学特論	1・2前		2		1					
	地盤シミュレーション工学	1・2前		2							1
	エリアマーケティング学	1・2前		2		1	1				
	ストックマネジメント学	1・2前		2			1				
	ストックデザイン演習	1・2後		2		1	1				
	知能システム学特論	1・2前		2		1					
	知的システム構成特論	1・2前		2		1					
	確率システム制御特論	1・2後		2			1				
	ロボティクス特論	1・2後		2		1					
	視覚情報解析特論	1・2前		2			1				
	自動運転車両特論	1・2前		2		1					
	制御システム特論	1・2前		2		2					
	人工知能入門	1・2後		2							1
	制御系構成特論	1・2後		2							1
	弾性力学特論	1・2前		2		1					
	伝熱学特論	1・2前		2		1					
	計測工学特論	1・2前		2			1				
	数値流体力学特論	1・2前		2		1					
	材料強度学特論	1・2後		2			1				
	応用構造解析特論	1・2前		2			1				
	生産情報処理学特論	1・2後		2			1				
	エネルギー変換特論	1・2後		2		1					
	応用熱現象学特論	1・2後		2		1					
	粉体工学特論	1・2後		2		1					
	機能表面工学特論	1・2前		2		1					
	高速気体力学特論	1・2後		2		1					
	熱流体力学特論	1・2後		2			1				
	航空宇宙の誘導制御学特論	1・2前		2							1
	高速衝突工学特論	1・2後		2		1					
	スペースダイナミクス特論	1・2後		2		1					
	熱輸送特論	1・2前		2		1					
宇宙航空システム特論	1・2前		2							6	
先端産業システム特論	1・2前		2							6	
開発プロジェクト特論	1・2後		2							5	
衛星工学入門	1・2後		2		1						
衛星電力システム特論Ⅰ	1・2後		1							3	
衛星電力システム特論Ⅱ	1・2後		1		1					2	
宇宙環境試験	1・2前		2		1						
宇宙構造材料特論	1・2後		2		1						
宇宙システム熱工学特論	1・2後		2		1						
宇宙システム工学Ⅰ	1・2後		1							1	
宇宙システム工学Ⅱ	1・2後		1							1	
宇宙材料劣化特論	1・2後		2			1					
宇宙環境技術特論	1・2前		2		2	1				2	
エネルギー工学特論	1・2後		2			1					
電力機器基礎特論	1・2後		2		1						
電子物性基礎論	1・2前		2			1					
薄膜デバイス特論	1・2前		2		1						
集積回路デバイス特論	1・2前		2		1						
集積回路プロセス特論	1・2後		2		1						
電力システム制御解析特論	1・2後		2			1					
電気材料特論	1・2前		2		1						
電力制御特論	1・2後		2			1					
誘電体工学特論	1・2前		2			1					
スイッチング電源特論	1・2前		2			1					
センシング基礎特論	1・2前		2		1						
インターネット工学特論	1・2前		2		1						

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門 科目	構造解析学特論	1・2前		2		1					
	建設材料学	1・2前		2			1				
	建築学特論	1・2前		2		2	2				
	材料力学特論	1・2後		2		1					
	構造動力学特論	1・2後		2		1					
	コンクリート工学特論	1・2後		2			1				
	建築構造特論	1・2後		2		1					
	建築計画特論	1・2前		2			1				
	建築環境特論	1・2前		2			1				
	建築デザイン特論	1・2後		2		1					
	国土デザインと景観工学	1・2後		2		1					
	道路交通環境	1・2後		2		1					
	水工学特論	1・2前		2		1					
	地盤工学特論Ⅰ	1・2前		2		2					
	地盤工学特論Ⅱ	1・2後		2		1					
	バリアフリー交通論	1・2後		2			1				
	環境保全と生態工学	1・2後		2		1					
	河川工学特論	1・2後		2			1				
	数値水理学	1・2前		2			1				
	地盤防災工学特論	1・2前		2		1					
	地盤シミュレーション工学	1・2前		2							1
	エリアマーケティング学	1・2前		2		1	1				
	ストックマネジメント学	1・2前		2			1				
	ストックデザイン演習	1・2後		2		1	1				
	知能システム学特論	1・2前		2		1					
	知的システム構成特論	1・2前		2		1					
	確率システム制御特論	1・2後		2			1				
	ロボティクス特論	1・2後		2		1					
	視覚情報解析特論	1・2前		2			1				
	自動運転車両特論	1・2前		2		1					
	制御システム特論	1・2前		2		2					
	人工知能入門	1・2後		2							1
	制御系構成特論	1・2後		2							1
	弾性力学特論	1・2前		2		1					
	伝熱学特論	1・2前		2		1					
	計測工学特論	1・2前		2			1				
	数値流体力学特論	1・2前		2		1					
	材料強度学特論	1・2後		2			1				
	応用構造解析特論	1・2前		2			1				
	生産情報処理学特論	1・2後		2			1				
	エネルギー変換特論	1・2後		2		1					
	応用熱現象学特論	1・2後		2		1					
	粉体工学特論	1・2後		2		1					
	機能表面工学特論	1・2前		2		1					
	高速気体力学特論	1・2後		2		1					
	熱流体力学特論	1・2後		2			1				
航空宇宙の誘導制御学特論	1・2後		2							1	
高速衝突工学特論	1・2後		2		1						
スペースダイナミクス特論	1・2後		2		1						
熱輸送特論	1・2前		2		1						
宇宙航空システム特論	1・2前		2							6	
先端産業システム特論	1・2前		2							5	
開発プロジェクト特論	1・2後		2							4	
衛星工学入門	1・2後		2		1						
衛星電力システム特論Ⅰ	1・2後		1							3	
衛星電力システム特論Ⅱ	1・2後		1		1					2	
宇宙環境試験	1・2前		2		1						
宇宙構造材料特論	1・2後		2		1						
宇宙システム熱工学特論	1・2後		2		1						
宇宙システム工学Ⅰ	1・2後		1							1	
宇宙システム工学Ⅱ	1・2後		1							1	
宇宙材料劣化特論	1・2後		2			1					
宇宙環境技術特論	1・2前		2		2	1				2	
エネルギー工学特論	1・2後		2			1					
電力機器基礎特論	1・2後		2		1						
電子物性基礎論	1・2前		2		1						
薄膜デバイス特論	1・2後		2		1						
集積回路デバイス特論	1・2前		2		1						
集積回路プロセス特論	1・2後		2		1						
電力システム制御解析特論	1・2後		2			1					
電気材料特論	1・2前		2		1						
電力制御特論	1・2後		2			1					
誘電体工学特論	1・2前		2			1					
スイッチング電源特論	1・2前		2			1					
センシング基礎特論	1・2前		2		1						
インターネット工学特論	1・2前		2		1						

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専 門 科 目	ユビキタス無線特論	1-2前		2		1					1
	電子回路設計特論	1-2後		2		1					
	電子システム開発特論	1-2前		2		1					
	音響信号処理特論	1-2後		2		1					
	ソフトコンピューティング特論	1-2後		2		1					
	画像信号処理特論	1-2後		2		1					
	デジタル回路システム特論	1-2後		2		1					
	環境電磁工学特論	1-2後		2		1					
	回路実装・システム設計特論	1-2前		2		1					
	技術者コミュニケーション論Ⅰ	1-2後		1		1					
	技術者コミュニケーション論Ⅱ	1-2後		1		1					
	先端電気工学特論	1-2後		2		5	5				
	先端電子工学特論	1-2後		2		3	7				
	電気エネルギー工学特論Ⅰ	1-2通		2		1					
	電気エネルギー工学特論Ⅱ	1-2通		2		1					
	電気電子工学特論Ⅰ	1-2通		1		1					
	電気電子工学特論Ⅱ	1-2通		1		1					
	電気電子工学特論Ⅲ	1-2通		1		1					
	電気電子工学特論Ⅳ	1-2通		1		1					
	有機化学概論	1-2前		2		1	1				
	化学工学概論	1-2前		2		1					
	無機化学概論	1-2後		2		2					
	物理化学概論	1-2前		2		1					
	精密有機合成化学特論	1-2前		2		1					
	有機合成化学特論	1-2後		2		1					
	有機金属化学特論	1-2後		2		1					
	錯体化学特論	1-2前		2		1					
	構造有機化学特論	1-2後		2		1					
	機能有機化学特論	1-2後		2		1					
	物理有機化学特論	1-2後		2		1					
	工業反応装置特論	1-2後		2		1					
	光触媒機能工学特論	1-2後		2		1					
	機能材料創製特論	1-2前		2		1					
	ナノ材料化学特論	1-2前		2		1					
	精密無機材料合成特論	1-2前		2		1					
	集合体化学特論	1-2前		2		1					
	バイオ分析化学特論	1-2前		2		1					
	センサ化学特論	1-2後		2		1					
	バイオ計測学特論	1-2後		2		1					
	生体機能化学特論	1-2前		2		1					
	応用化学特論Ⅰ	1-2通		2		1					
	応用化学特論Ⅱ	1-2通		2		1					
	応用化学特論Ⅲ	1-2通		2		1					
	表面改質工学特論	1-2前		2		1					
	極微構造解析学特論	1-2後		2		1					
	構造相転移学特論	1-2前		2		1					
	環境材料強度学特論	1-2前		2		1					
	材料反応速度特論	1-2前		2		1					
	造形力学特論	1-2後		2		1					
	マテリアルデザイン特論	1-2後		2		1					
	マテリアル複合工学特論	1-2後		2							
	材料相変態特論	1-2前		2		1					
	溶接力学特論	1-2後		2		1					
	薄膜材料学特論	1-2前		2		1					
	非平衡材料分析学特論	1-2前		2							
	材料科学特論	1-2前		2		1					
	計算材料科学特論	1-2前		2		1					
	先進セラミックス特論	1-2後		2							
	マテリアル工学特論Ⅰ	1-2前		2		1					
	マテリアル工学特論Ⅱ	1-2後		2		1					
	長年連携マテリアル工学プロジェクト	1-2後		2		1					
	メカトロニクス特論	1-2前		2		1					
	MEMS工学特論	1-2前		2		1					
	デジタル信号処理特論	1-2後		2		1					
	磁気工学特論	1-2前		2		1					
	ナノ材料およびデバイス特論	1-2前		2		1					
	メソスコピック系物理学特論	1-2後		2		1					
	生体機能設計学特論	1-2後		2		1					
	自動車工学特論Ⅰ	1-2後		1							
	自動車工学特論Ⅱ	1-2後		1							
	半導体トピックセミナー	1-2後		2		4					

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専 門 科 目	ユビキタス無線特論	1-2前		2		1					1
	電子回路設計特論	1-2後		2		1					
	電子システム開発特論	1-2前		2		1					
	音響信号処理特論	1-2後		2		1					
	ソフトコンピューティング特論	1-2後		2		1					
	画像信号処理特論	1-2後		2		1					
	デジタル回路システム特論	1-2後		2		1					
	環境電磁工学特論	1-2後		2		1					
	回路実装・システム設計特論	1-2前		2		1					
	技術者コミュニケーション論Ⅰ	1-2後		1		1					
	技術者コミュニケーション論Ⅱ	1-2後		1		1					
	先端電気工学特論	1-2後		2		6	4				
	先端電子工学特論	1-2後		2		3	7				
	電気エネルギー工学特論Ⅰ	1-2通		2		1					
	電気エネルギー工学特論Ⅱ	1-2通		2		1					
	電気電子工学特論Ⅰ	1-2通		1		1					
	電気電子工学特論Ⅱ	1-2通		1		1					
	電気電子工学特論Ⅲ	1-2通		1		1					
	電気電子工学特論Ⅳ	1-2通		1		1					
	有機化学概論	1-2前		2		1	1				
	化学工学概論	1-2前		2		1					
	無機化学概論	1-2後		2		2					
	物理化学概論	1-2前		2		1					
	精密有機合成化学特論	1-2前		2		1					
	有機合成化学特論	1-2後		2		1					
	有機金属化学特論	1-2後		2		1					
	錯体化学特論	1-2前		2		1					
	構造有機化学特論	1-2後		2		1					
	機能有機化学特論	1-2後		2		1					
	物理有機化学特論	1-2後		2		1					
	工業反応装置特論	1-2後		2		1					
	光触媒機能工学特論	1-2後		2		1					
	機能材料創製特論	1-2前		2		1					
	ナノ材料化学特論	1-2前		2		1					
	精密無機材料合成特論	1-2前		2		1					
	集合体化学特論	1-2前		2		1					
	バイオ分析化学特論	1-2前		2		1					
	センサ化学特論	1-2後		2		1					
	バイオ計測学特論	1-2後		2		1					
	生体機能化学特論	1-2前		2		1					
	移動現象特論	1-2前		2		1					
	応用化学特論Ⅰ	1-2通		2		1					
	応用化学特論Ⅱ	1-2通		2		1					
	応用化学特論Ⅲ	1-2通		2		1					
	表面改質工学特論	1-2前		2		1					
	極微構造解析学特論	1-2後		2		1					
	構造相転移学特論	1-2前		2		1					
	環境材料強度学特論	1-2前		2		1					
	材料反応速度特論	1-2前		2		1					
	造形力学特論	1-2後		2		1					
	マテリアルデザイン特論	1-2後		2		1					
	マテリアル複合工学特論	1-2後		2							
	材料相変態特論	1-2前		2		1					
	溶接力学特論	1-2後		2		1					
	薄膜材料学特論	1-2前		2		1					
	非平衡材料分析学特論	1-2前		2							
	材料科学特論	1-2前		2		1					
	計算材料科学特論	1-2前		2		1					
	先進セラミックス特論	1-2後		2							
	マテリアル工学特論Ⅰ	1-2前		2		1					
	マテリアル工学特論Ⅱ	1-2後		2		1					
	長年連携マテリアル工学プロジェクト	1-2後		2		1					
	メカトロニクス特論	1-2前		2		1					
	MEMS工学特論	1-2前		2		1					
	デジタル信号処理特論	1-2後		2		1					
	磁気工学特論	1-2前		2		1					
	ナノ材料およびデバイス特論	1-2前		2		1					
	メソスコピック系物理学特論	1-2後		2		1					
	生体機能設計学特論	1-2後		2		1					
	自動車工学特論Ⅰ	1-2後		1							
	自動車工学特論Ⅱ	1-2後		1							
	半導体トピックセミナー	1-2後		2		4					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	開発プロジェクト（設計）Ⅰ	1-2通		1		1					
	開発プロジェクト（設計）Ⅱ	1-2通		1		1					
	開発プロジェクト（製作）Ⅰ	1-2通		1		1					
	開発プロジェクト（製作）Ⅱ	1-2通		1		1					
	開発プロジェクト（運用）Ⅰ	1-2通		1		1					
	開発プロジェクト（運用）Ⅱ	1-2通		1		1					
	実践工学総合科目A	1-2通		1		1					
	実践工学総合科目B	1-2通		1		1					
	実践工学総合科目C	1-2通		1		1					
	実践工学総合科目D	1-2通		1		1					
	実践工学総合科目E	1-2通		2		1					
	実践工学総合科目F	1-2通		2		1					
	実践工学総合科目G	1-2通		2		1					
	特別応用研究Ⅰ	1-2通		2		1					
	特別応用研究Ⅱ	1-2通		2		1					
	特別応用研究Ⅲ	1-2通		2		1					
	小計（163科目）	—									
特別演習科目	工学講究	1～2通	2			53	51	1			
	工学特別実験	1～2通	1			53	51	1			
	小計（2科目）	—									
合計（227科目）		—									
卒業要件及び履修方法											
教養科目群（上級教養科目、上級語学科目、実践実習科目）から4単位以上、専門科目群から数理情報科目2単位以上、主専門コースカリキュラムから14単位以上（うち選択必修科目から10単位以上）、特別演習科目3単位、副専門モジュールを1つ以上取得、合計30単位以上を修得すること。（履修科目の登録の上限：38単位（年間））											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	開発プロジェクト（設計）Ⅰ	1-2通		1		1					
	開発プロジェクト（設計）Ⅱ	1-2通		1		1					
	開発プロジェクト（製作）Ⅰ	1-2通		1		1					
	開発プロジェクト（製作）Ⅱ	1-2通		1		1					
	開発プロジェクト（運用）Ⅰ	1-2通		1		1					
	開発プロジェクト（運用）Ⅱ	1-2通		1		1					
	実践工学総合科目A	1-2通		1		1					
	実践工学総合科目B	1-2通		1		1					
	実践工学総合科目C	1-2通		1		1					
	実践工学総合科目D	1-2通		1		1					
	実践工学総合科目E	1-2通		2		1					
	実践工学総合科目F	1-2通		2		1					
	実践工学総合科目G	1-2通		2		1					
	特別応用研究Ⅰ	1-2通		2		1					
	特別応用研究Ⅱ	1-2通		2		1					
	特別応用研究Ⅲ	1-2通		2		1					
	小計（164科目）	—									
特別演習科目	工学講究	1～2通	2			54	54	1			
	工学特別実験	1～2通	1			54	54	1			
	小計（2科目）	—	3								
合計（228科目）		—									
卒業要件及び履修方法											
教養科目群（上級教養科目、上級語学科目、実践実習科目）から4単位以上、専門科目群から数理情報科目2単位以上、主専門コースカリキュラムから14単位以上（うち選択必修科目から10単位以上）、特別演習科目3単位、副専門モジュールを1つ以上取得、合計30単位以上を修得すること。（履修科目の登録の上限：38単位（年間））											

- （注）・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために**未開講**となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。（2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・兼任予定教員の辞退により、「MOT特論」の専任教員等の配置を「兼任・兼任11」から「兼任・兼任9」に変更。
- ・教員の開講スケジュール都合により、「産業組織特論A」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・教員の開講スケジュール都合により、「産業組織特論B」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・教員の開講スケジュール都合により、「近現代産業文化史特論」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・教員の開講スケジュール都合により、「ジェンダー史特論」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・教員の開講スケジュール都合により、「史的文明論と社会論Ⅰ」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・教員の開講スケジュール都合により、「史的文明論と社会論Ⅱ」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・教員の開講スケジュール都合により、「現代哲学概論」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・教員の開講スケジュール都合により、「英語ⅨA」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・教員の開講スケジュール都合により、「英語ⅩA」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。
- ・専任教員採用により、「建築学特論」の専任教員等の配置を「教授2・准教授1」から「教授2・准教授2」に変更。
- ・専任教員採用により、「建築環境特論」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「准教授1」に変更。
- ・教員の開講スケジュール都合により、「航空宇宙の誘導制御学特論」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・兼任予定教員の辞退により、「先端産業システム特論」の専任教員等の配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・兼任予定教員の辞退により、「開発プロジェクト特論」の専任教員等の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・専任教員昇任により、「電子物性基礎論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・教員の開講スケジュール都合により、「薄膜デバイス特論」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・専任教員の昇任により、「先端電気工学特論」の専任教員等の配置を「教授5・准教授5」から「教授6・准教授4」に変更。
- ・専任教員採用により、「移動現象特論」を追加。
- ・兼任予定教員の辞退により、「自動車工学特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・専任教員昇任及び採用により、「工学講究」の専任教員等の配置を「教授53・准教授51」から「教授54・准教授54」に変更。
- ・専任教員昇任及び採用により、「工学特別実験」の専任教員等の配置を「教授53・准教授51」から「教授54・准教授54」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
2 科目	225 科目	0 科目	227 科目	2 科目 [-]	226 科目 [1]	0 科目 [-]	228 科目 [1]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているに関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{395} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	面積算出資料の見直し を行ったため（元）			
	校 舎 敷 地	445,029 446,529 m ²	0 m ²	0 m ²	445,029 446,529 m ²				
	運動場用地	82,370 m ²	0 m ²	0 m ²	82,370 m ²				
	小 計	527,399 528,899 m ²	0 m ²	0 m ²	527,399 528,899 m ²				
	そ の 他	12,743 m ²	0 m ²	0 m ²	12,743 m ²				
	合 計	540,142 541,642 m ²	0 m ²	0 m ²	540,142 541,642 m ²				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	面積算出資料の見直し を行ったため（元）				
	150,465 150,026 m ² (150,465 150,026 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	150,465 150,026 m ² (150,465 150,026 m ²)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	79 室	92 室	700 室	11 室 (補助職員 一人)	4 室 (補助職員 一人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	工学府 工学専攻			418 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料	機械・器具	標 本	大学全体 算出資料の見直しを 行ったため。また、図 書・設備等の購入及び 処分等のため。（元）	
		冊	種	点	点	点	点		
	工学府 工学専攻	441,002 321,256 [110,029 85,366]	9,264 8,313 [5,947 5,445]	4,895 5,001 [4,883 4,990]	9,201-4,815	4,178 92	0		
		(441,002 321,256 [110,029 85,366])	9,264 8,313 [5,947 5,445]	4,895 5,001 [4,883 4,990]	(9,201 4,815)	(4,178 92)	(0)		
	計	441,002 321,256 [110,029 85,366]	9,264 8,313 [5,947 5,445]	4,895 5,001 [4,883 4,990]	9,201-4,815	4,178 92	0		
		(441,002 321,256 [110,029 85,366])	9,264 8,313 [5,947 5,445]	4,895 5,001 [4,883 4,990]	(9,201 4,815)	(4,178 92)	(0)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	7,961 m ²		922		551,055				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	5,522 m ²		野球場2面、プール2面、テニスコート13面、武道場、弓道場						
(8) 経費の見 積り及び 維持方法 の 概 要	経費 の見 積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員 1 人 当り 研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生 1 人 当 り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「（5）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（元）」を「備考」に赤字で記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「（8）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	九 州 工 業 大 学									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
工学部										
機械知能工学科	4	136	3年次 学科 共通 20	552	学士 (工学)	1.02	-	平成9年度	福岡県北九州市 戸畑区仙水町1-1	平成30年度より 学生募集停止
建設社会工学科	4	80		320	学士 (工学)	1.03	-	平成9年度	同上	
電気電子工学科	4	126		512	学士 (工学)	1.02	-	平成20年度	同上	
応用化学科	4	74		288	学士 (工学)	1.02	-	平成20年度	同上	
マテリアル工学科	4	60		240	学士 (工学)	1.01	-	平成20年度	同上	
総合システム工学科	4	-		-	学士 (工学)	-	-	平成20年度	同上	
宇宙システム工学科	4	55		110	学士 (工学)	1.01	-	平成30年度	同上	
情報工学部										
知能情報工学科	4	93	-	362	学士 (情報工 学)	1.03	-	平成30年度	福岡県飯塚市 川津640-1	平成30年度より 学生募集停止
情報・通信工学科	4	93	-	186	学士 (情報工 学)	1.03	-	平成30年度	同上	
知的システム工学科	4	94	-	188	学士 (情報工 学)	1.03	-	平成30年度	同上	
物理情報工学科	4	65	-	130	学士 (情報工 学)	1.03	-	平成30年度	同上	
生命化学情報工学科	4	65	-	130	学士 (情報工 学)	1.03	-	平成30年度	同上	
知能情報工学科	4	-	-	-	学士 (情報工 学)	-	-	昭和62年度	同上	
電子情報工学科	4	-	-	-	学士 (情報工 学)	-	-	昭和62年度	同上	
システム創成情報工学科	4	-	-	-	学士 (情報工 学)	-	-	平成16年度	同上	平成30年度より 学生募集停止
機械情報工学科	4	-	-	-	学士 (情報工 学)	-	-	平成16年度	同上	平成30年度より 学生募集停止
生命情報工学科	4	-	-	-	学士 (情報工 学)	-	-	平成16年度	同上	平成30年度より 学生募集停止
大学院工学府 (博士前期課程)										
工学専攻	2	278	-	278	修士 (工学)	0.99	-	平成31年度	福岡県北九州市 戸畑区仙水町1-1	平成31年度より 学生募集停止 平成31年度より 学生募集停止 平成31年度より 学生募集停止 平成31年度より 学生募集停止 平成31年度より 学生募集停止
機械知能工学専攻	2	78	-	-	修士 (工学)	-	-	平成20年度	同上	
建設社会工学専攻	2	39	-	-	修士 (工学)	-	-	平成20年度	同上	
電気電子工学専攻	2	59	-	-	修士 (工学)	-	-	平成20年度	同上	
物質工学専攻	2	51	-	-	修士 (工学)	-	-	平成20年度	同上	
先端機能システム工学専攻	2	34	-	-	修士 (工学)	-	-	平成20年度	同上	
(博士後期課程)										
工学専攻	3	24	-	58	博士 (工学)	1.49	-	平成26年度	同上	平成26年度より 学生募集停止
機械知能工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	平成20年度	同上	

建設社会学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	平成20年度	同上	平成26年度より 学生募集停止
電気電子工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	平成20年度	同上	平成26年度より 学生募集停止
先端機能システム工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	平成20年度	同上	平成26年度より 学生募集停止
大学院情報工学府 (博士前期課程)										
先端情報工学専攻	2	60	-	120	修士 (情報工 学)	0.95	-	平成26年度	福岡県飯塚市 川津640-1	
学際情報工学専攻	2	90	-	180	修士 (情報工 学)	1.00	-	平成26年度	同上	
情報創成工学専攻 (博士後期課程)	2	45	-	90	修士 (情報工 学)	0.95	-	平成20年度	同上	
情報工学専攻	3	14	-	42	博士 (情報工 学)	1.04	-	平成26年度	同上	
大学院生命体工学研究科 (博士前期課程)										
生体機能応用工学専攻	2	65	-	130	修士(工 学・情報工 学・学術)	0.90	-	平成26年度	福岡県北九州市 若松区ひびきの2-4	
人間知能システム工学専攻 (博士後期課程)	2	57	-	114	修士(工 学・情報工 学・学術)	1.07	-	平成26年度	同上	
生命体工学専攻	3	36	-	108	博士(工 学・情報工 学・学術)	0.87	-	平成26年度	同上	
生体機能専攻	3	-	-	-	博士(工 学・情報工 学・学術)	-	-	平成12年度	同上	平成26年度より 学生募集停止
脳情報専攻	3	-	-	-	博士(工 学・情報工 学・学術)	-	-	平成12年度	同上	平成26年度より 学生募集停止
大 学 の 名 称	〇 〇 短 期 大 学									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
●●学科	年	人	年次 人	人	短期大学士 (●●学)	倍	-	平成3	〇〇県〇〇市〇〇〇〇…	
大学全体	4	270	-	700	-	1.03	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<大学院工学府 工学専攻>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学 府 長)	芹川 聖一 0 ＜平成31年4月＞ 博士(工学) センシング基礎特論 先端電子工学特論 ※【隔年】 工学講究 工学特別実験
		中尾 基 0 ＜平成31年4月＞
専	教授 (専 攻 長)	大学院国際協働演習 大学院海外研修Ⅰ 大学院海外研修Ⅱ 大学院海外インターンシップ実習Ⅰ 大学院海外インターンシップ実習Ⅱ 大学院国内インターンシップ実習Ⅰ 大学院国内インターンシップ実習Ⅱ 学外実習Ⅰ 学外実習Ⅱ 学外演習Ⅰ 学外演習Ⅱ プレゼンテーション 半導体薄膜電子デバイス特論 開発プロジェクト（設計）Ⅰ 開発プロジェクト（設計）Ⅱ 開発プロジェクト（製作）Ⅰ 開発プロジェクト（製作）Ⅱ 開発プロジェクト（運用）Ⅰ 開発プロジェクト（運用）Ⅱ 実践工学総合科目A 実践工学総合科目B 実践工学総合科目C 実践工学総合科目D 実践工学総合科目E 実践工学総合科目F 実践工学総合科目G 特別応用研究Ⅰ 特別応用研究Ⅱ 特別応用研究Ⅲ 工学講究 工学特別実験
		赤星 保浩 0 ＜平成31年4月＞
専	教授	高遠衝突工学特論 宇宙環境技術特論 ※ 工学講究 工学特別実験
		秋山 哲也 0 ＜平成31年4月＞
専	教授	造形力学特論 工学講究 工学特別実験
		浅海 賢一 0 ＜平成31年4月＞
専	教授	組み込みシステム特論 工学講究 工学特別実験
		池永 全志 0 ＜平成31年4月＞
専	教授	インターネット工学特論 先端電子工学特論 ※【隔年】 電気エネルギー工学特論Ⅰ 電気エネルギー工学特論Ⅱ 電気電子工学特論Ⅰ 電気電子工学特論Ⅱ 電気電子工学特論Ⅲ 電気電子工学特論Ⅳ 工学講究 工学特別実験
		池永 全志 0 ＜平成31年4月＞

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学 府 長)	芹川 聖一 0 ＜平成31年4月＞ 博士(工学) センシング基礎特論 先端電子工学特論 ※【隔年】 工学講究 工学特別実験
		中尾 基 0 ＜平成31年4月＞
専	教授 (専 攻 長)	大学院国際協働演習 大学院海外研修Ⅰ 大学院海外研修Ⅱ 大学院海外インターンシップ実習Ⅰ 大学院海外インターンシップ実習Ⅱ 大学院国内インターンシップ実習Ⅰ 大学院国内インターンシップ実習Ⅱ 学外実習Ⅰ 学外実習Ⅱ 学外演習Ⅰ 学外演習Ⅱ プレゼンテーション 半導体薄膜電子デバイス特論 開発プロジェクト（設計）Ⅰ 開発プロジェクト（設計）Ⅱ 開発プロジェクト（製作）Ⅰ 開発プロジェクト（製作）Ⅱ 開発プロジェクト（運用）Ⅰ 開発プロジェクト（運用）Ⅱ 実践工学総合科目A 実践工学総合科目B 実践工学総合科目C 実践工学総合科目D 実践工学総合科目E 実践工学総合科目F 実践工学総合科目G 特別応用研究Ⅰ 特別応用研究Ⅱ 特別応用研究Ⅲ 工学講究 工学特別実験
		赤星 保浩 0 ＜平成31年4月＞
専	教授	高遠衝突工学特論 宇宙環境技術特論 ※ 工学講究 工学特別実験
		秋山 哲也 0 ＜平成31年4月＞
専	教授	造形力学特論 工学講究 工学特別実験
		浅海 賢一 0 ＜平成31年4月＞
専	教授	組み込みシステム特論 工学講究 工学特別実験
		池永 全志 0 ＜平成31年4月＞
専	教授	インターネット工学特論 先端電子工学特論 ※【隔年】 電気エネルギー工学特論Ⅰ 電気エネルギー工学特論Ⅱ 電気電子工学特論Ⅰ 電気電子工学特論Ⅱ 電気電子工学特論Ⅲ 電気電子工学特論Ⅳ 工学講究 工学特別実験
		池永 全志 0 ＜平成31年4月＞

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	ｲｼﾎﾞ ﾏﾅﾌ 石丸 学 ＜平成31年4月＞	専	教授	石丸 学 0 ＜平成31年4月＞ 極微構造解析学特論 工学講究 工学特別実験
		極微構造解析学特論 材料科学特論 【隔年】 計算材料科学特論 【隔年】 マテリアル工学特論Ⅰ マテリアル工学特論Ⅱ 産学連携マテリアル工学プロジェクト 工学講究 工学特別実験			
専	教授	ｲｽﾐ ｱﾁﾗ 和泉 亮 ＜平成31年4月＞	専	教授	和泉 亮 0 ＜平成31年4月＞ 集積回路プロセス特論 先端電気工学特論 ※【隔年】 工学講究 工学特別実験
		集積回路プロセス特論 先端電気工学特論 ※【隔年】 工学講究 工学特別実験			
専	教授	ｲﾄ ﾀｲﾀﾛ 伊東 啓太郎 ＜平成31年4月＞	専	教授	伊東 啓太郎 0 ＜平成31年4月＞ 環境保全と生態工学 工学講究 工学特別実験
		環境保全と生態工学 工学講究 工学特別実験			
専	教授	ｳｽｶﾞ ﾄｼﾋｺ 梅景 俊彦 ＜平成31年4月＞	専	教授	梅景 俊彦 0 ＜平成31年4月＞ 粉体工学特論 工学講究 工学特別実験
		粉体工学特論 工学講究 工学特別実験			
専	教授	ｵﾉ ﾏﾔｼﾔ 横野 照尚 ＜平成31年4月＞	専	教授	横野 照尚 0 ＜平成31年4月＞ 光触媒機能工学特論 工学講究 工学特別実験
		光触媒機能工学特論 工学講究 工学特別実験			
専	教授	ｵﾁ ﾏｹﾛ 大屋 勝敬 ＜平成31年4月＞	専	教授	大屋 勝敬 0 ＜平成31年4月＞ 自動運転車両特論 制御システム特論 工学講究 工学特別実験
		自動運転車両特論 制御システム特論 工学講究 工学特別実験			
専	教授	ｵｶﾞﾔ ﾀｲｲ 奥山 圭一 ＜平成31年4月＞	専	教授	奥山 圭一 0 ＜平成31年4月＞ 宇宙構造材料特論 【隔年】 宇宙システム熱工学特論 【隔年】 工学講究 工学特別実験
		宇宙構造材料特論 【隔年】 宇宙システム熱工学特論 【隔年】 工学講究 工学特別実験			
専	教授	ｵﾐｶ ﾉｷ 鬼東 幸樹 ＜平成31年4月＞	専	教授	鬼東 幸樹 0 ＜平成31年4月＞ 水工学特論 工学講究 工学特別実験
		水工学特論 工学講究 工学特別実験			
専	教授	ｶﾔ ﾋﾛｼ 鎌田 裕之 ＜平成31年4月＞	専	教授	鎌田 裕之 0 ＜平成31年4月＞ 量子力学特論 工学講究 工学特別実験
		量子力学特論 工学講究 工学特別実験			
専	教授	ｷﾔﾅ ﾐﾅ 北村 充 ＜平成31年4月＞	専	教授	北村 充 0 ＜平成31年4月＞ 精密有機合成化学特論 工学講究 工学特別実験
		精密有機合成化学特論 工学講究 工学特別実験			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	私 ヒヨウ 金 亨燮 ＜平成31年4月＞
		知的システム構成特論 工学講究 工学特別実験
専	教授	加木 シウイ 黒木 秀一 ＜平成31年4月＞
		知能システム学特論 工学講究 工学特別実験
専	教授	コサキ モミヲ 小森 望充 ＜平成31年4月＞
		メカトロニクス特論 工学講究 工学特別実験
専	教授	サカイ ヒロシ 酒井 浩 ＜平成31年4月＞
		現代数学特論 ※ 計算数学特論 工学講究 工学特別実験
専	教授	サカイ シンイ 相良 慎一 ＜平成31年4月＞
		ロボティクス特論 制御システム特論 工学講究 工学特別実験
専	教授	シミズ 37イ 清水 陽一 ＜平成31年4月＞
		無機化学概論 センサ化学特論 【隔年】 工学講究 工学特別実験
専	教授	シラハ シュウイ 白土 竜一 ＜平成31年4月＞
		電気材料特論 先端電気工学特論 ※【隔年】 工学講究 工学特別実験
専	教授	スズキ トモサ 鈴木 智成 ＜平成31年4月＞
		現代数学特論 ※ 非線形解析学特論 工学講究 工学特別実験
専	教授	ソノ ヌウ 孫 勇 ＜平成31年4月＞
		ナノ材料およびデバイス特論 工学講究 工学特別実験
専	教授	タナヅウ マサキ 竹澤 昌晃 ＜平成31年4月＞
		磁気工学特論 工学講究 工学特別実験

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	金 亨燮 0 ＜平成31年4月＞
		知的システム構成特論 工学講究 工学特別実験
専	教授	黒木 秀一 0 ＜平成31年4月＞
		知能システム学特論 工学講究 工学特別実験
専	教授	小森 望充 0 ＜平成31年4月＞
		メカトロニクス特論 工学講究 工学特別実験
専	教授	酒井 浩 0 ＜平成31年4月＞
		現代数学特論 ※ 計算数学特論 工学講究 工学特別実験
専	教授	相良 慎一 0 ＜平成31年4月＞
		ロボティクス特論 制御システム特論 工学講究 工学特別実験
専	教授	清水 陽一 0 ＜平成31年4月＞
		無機化学概論 センサ化学特論 【隔年】 工学講究 工学特別実験
専	教授	白土 竜一 0 ＜平成31年4月＞
		電気材料特論 先端電気工学特論 ※【隔年】 工学講究 工学特別実験
専	教授	鈴木 智成 0 ＜平成31年4月＞
		現代数学特論 ※ 非線形解析学特論 工学講究 工学特別実験
専	教授	孫 勇 0 ＜平成31年4月＞
		ナノ材料およびデバイス特論 工学講究 工学特別実験
専	教授	竹澤 昌晃 0 ＜平成31年4月＞
		磁気工学特論 工学講究 工学特別実験

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	カカ シゲリ 竹中 繁織 ＜平成31年4月＞
		物理化学概論 バイオ分析化学特論 応用化学特論Ⅰ 応用化学特論Ⅱ 応用化学特論Ⅲ 工学講究 工学特別実験
専	教授	ヲヨ ミナ 趙 孟佑 ＜平成31年4月＞
		宇宙環境試験ワークショップ 宇宙システムPBLⅠ 宇宙システムPBLⅡ 衛星工学入門 衛星電力システム特論Ⅱ ※ 宇宙環境試験 宇宙環境技術特論 ※ 工学講究 工学特別実験
専	教授	チ ハヤシ 陳 沛山 ＜平成31年4月＞
		建築学特論 建築構造特論 工学講究 工学特別実験
専	教授	カ タロ 柘植 顕彦 ＜平成31年4月＞
		有機化学概論 構造有機化学特論 【隔年】 工学講究 工学特別実験
専	教授	ヲイ ノブキ 坪井 伸幸 ＜平成31年4月＞
		数値流体力学特論 高速気体力学特論 工学講究 工学特別実験
専	教授	ヲリ 隆治 鶴田 隆治 ＜平成31年4月＞
		伝熱学特論 工学講究 工学特別実験
専	教授	デグチ ヒロキ 出口 博之 ＜平成31年4月＞
		超伝導工学特論 工学講究 工学特別実験
専	教授	チノ マサ 内藤 正路 ＜平成31年4月＞
		薄膜デバイス特論 先端電気工学特論 ※【隔年】 工学講究 工学特別実験
専	教授	カノ ヒデオ 永瀬 英生 ＜平成31年4月＞
		地盤工学特論Ⅰ 地盤防災工学特論 工学講究 工学特別実験

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	ナカ 繁織 0 ＜平成31年4月＞
		物理化学概論 バイオ分析化学特論 工学講究 工学特別実験
専	教授	ヲヨ ミナ 趙 孟佑 0 ＜平成31年4月＞
		宇宙環境試験ワークショップ 宇宙システムPBLⅠ 宇宙システムPBLⅡ 衛星工学入門 衛星電力システム特論Ⅱ ※ 宇宙環境試験 宇宙環境技術特論 ※ 工学講究 工学特別実験
専	教授	チ 沛山 陳 沛山 0 ＜平成31年4月＞
		建築学特論 建築構造特論 工学講究 工学特別実験
専	教授	カ 顕彦 柘植 顕彦 0 ＜平成31年4月＞
		有機化学概論 構造有機化学特論 【隔年】 工学講究 工学特別実験
専	教授	ヲイ 伸幸 坪井 伸幸 0 ＜平成31年4月＞
		数値流体力学特論 高速気体力学特論 工学講究 工学特別実験
専	教授	ヲリ 隆治 鶴田 隆治 0 ＜平成31年4月＞
		伝熱学特論 工学講究 工学特別実験
専	教授	デグチ 博之 出口 博之 0 ＜平成31年4月＞
		超伝導工学特論 工学講究 工学特別実験
専	教授	チノ 正路 内藤 正路 0 ＜平成31年4月＞
		薄膜デバイス特論 先端電気工学特論 ※【隔年】 工学講究 工学特別実験
専	教授	カノ 英生 永瀬 英生 0 ＜平成31年4月＞
		地盤工学特論Ⅰ 地盤防災工学特論 工学講究 工学特別実験

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	カト 晃之 中戸 晃之 ＜平成31年4月＞
		無機化学概論 集合体化学特論 【隔年】 集合体化学特論 【隔年】 工学講究 工学特別実験
専	教授	中藤 良久 ＜平成31年4月＞
		電子システム開発特論 技術者コミュニケーション論Ⅰ 技術者コミュニケーション論Ⅱ 先端電子工学特論 ※【隔年】 工学講究 工学特別実験
専	教授	長山 暎子 ＜平成31年4月＞
		応用熱事象学特論 工学講究 工学特別実験
専	教授	野田 尚昭 ＜平成31年4月＞
		弾性力学特論 工学講究 工学特別実験
専	教授	平木 謙儒 ＜平成31年4月＞
		スペースダイナミクス特論 工学講究 工学特別実験
専	教授	廣岡 明彦 ＜平成31年4月＞
		地盤工学特論Ⅰ 地盤工学特論Ⅱ 工学講究 工学特別実験
専	教授	藤田 敏治 ＜平成31年4月＞
		現代数学特論 ※ 計画数学特論 工学講究 工学特別実験
専	教授	本田 崇 ＜平成31年4月＞
		MEMS工学特論 工学講究 工学特別実験
専	教授	松田 一俊 ＜平成31年4月＞
		構造力学特論 工学講究 工学特別実験
専	教授	松田 健次 ＜平成31年4月＞
		機能表面工学特論 工学講究 工学特別実験

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	中戸 晃之 0 ＜平成31年4月＞
		無機化学概論 集合体化学特論 【隔年】 応用化学特論Ⅰ 応用化学特論Ⅱ 応用化学特論Ⅲ 工学講究 工学特別実験
専	教授	中藤 良久 0 ＜平成31年4月＞
		電子システム開発特論 技術者コミュニケーション論Ⅰ 技術者コミュニケーション論Ⅱ 先端電子工学特論 ※【隔年】 工学講究 工学特別実験
専	教授	長山 暎子 0 ＜平成31年4月＞
		応用熱事象学特論 工学講究 工学特別実験
専	教授	野田 尚昭 0 ＜平成31年4月＞
		弾性力学特論 工学講究 工学特別実験
専	教授	平木 謙儒 0 ＜平成31年4月＞
		スペースダイナミクス特論 工学講究 工学特別実験
専	教授	廣岡 明彦 0 ＜平成31年4月＞
		地盤工学特論Ⅰ 地盤工学特論Ⅱ 工学講究 工学特別実験
専	教授	藤田 敏治 0 ＜平成31年4月＞
		現代数学特論 ※ 計画数学特論 工学講究 工学特別実験
専	教授	本田 崇 0 ＜平成31年4月＞
		MEMS工学特論 工学講究 工学特別実験
専	教授	松田 一俊 0 ＜平成31年4月＞
		構造力学特論 工学講究 工学特別実験
専	教授	松田 健次 0 ＜平成31年4月＞
		機能表面工学特論 工学講究 工学特別実験

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	マヰト カノ 松本 要 ＜平成31年4月＞
		マテリアルデザイン特論 工学講究 工学特別実験
専	教授	マヰト サト 松本 聡 ＜平成31年4月＞
		集積回路デバイス特論 先端電気工学特論 ※【隔年】 工学講究 工学特別実験
専	教授	ミチ ヤスノ 三谷 康範 ＜平成31年4月＞
		電力機器基礎特論 先端電気工学特論 ※【隔年】 工学講究 工学特別実験
専	教授	ミヅノ コウジ 宮崎 康次 ＜平成31年4月＞
		エネルギー変換特論 熱輸送特論 工学講究 工学特別実験
専	教授	ミナモト マサキ 美藤 正樹 ＜平成31年4月＞
		量子物性特論 工学講究 工学特別実験
専	教授	ヤマガチ イサヲ 山口 栄輝 ＜平成31年4月＞
		構造解析学特論 材料力学特論 工学講究 工学特別実験
専	教授	ヤマムラ マサト 山村 方人 ＜平成31年4月＞
		化学工学概論 工業反応装置特論 工学講究 工学特別実験
専	教授	ヨシタケ テツノブ 吉武 哲信 ＜平成31年4月＞
		国土デザインと景観工学 道路交通環境 エリアマーケティング学 ストックデザイン演習 工学講究 工学特別実験
専	准教授	アベ セイタ 安部 征哉 ＜平成31年4月＞
		スイッチング電源特論 先端電気工学特論 ※【隔年】 半導体トピックセミナー ※ 工学講究 工学特別実験
専	准教授	アベ コウジ 荒木 孝司 ＜平成31年4月＞
		有機化学概論 機能有機化学特論 【隔年】 物理有機化学特論 【隔年】 工学講究 工学特別実験

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松本 要 0 ＜平成31年4月＞
		マテリアルデザイン特論 材料科学特論 【隔年】 計算材料科学特論 【隔年】 マテリアル工学特論Ⅰ マテリアル工学特論Ⅱ 産学連携マテリアル工学プロジェクト 工学講究 工学特別実験
専	教授	松本 聡 0 ＜平成31年4月＞
		集積回路デバイス特論 先端電気工学特論 ※【隔年】 工学講究 工学特別実験
専	教授	三谷 康範 0 ＜平成31年4月＞
		電力機器基礎特論 先端電気工学特論 ※【隔年】 工学講究 工学特別実験
専	教授	宮崎 康次 0 ＜平成31年4月＞
		エネルギー変換特論 熱輸送特論 工学講究 工学特別実験
専	教授	美藤 正樹 0 ＜平成31年4月＞
		量子物性特論 工学講究 工学特別実験
専	教授	山口 栄輝 0 ＜平成31年4月＞
		構造解析学特論 材料力学特論 工学講究 工学特別実験
専	教授	山村 方人 0 ＜平成31年4月＞
		化学工学概論 工業反応装置特論 工学講究 工学特別実験
専	教授	吉武 哲信 0 ＜平成31年4月＞
		国土デザインと景観工学 道路交通環境 エリアマーケティング学 ストックデザイン演習 工学講究 工学特別実験
専	准教授	安部 征哉 0 ＜平成31年4月＞
		スイッチング電源特論 先端電気工学特論 ※【隔年】 半導体トピックセミナー ※ 工学講究 工学特別実験
専	准教授	荒木 孝司 0 ＜平成31年4月＞
		有機化学概論 機能有機化学特論 【隔年】 物理有機化学特論 【隔年】 工学講究 工学特別実験

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	ｲｸﾏ ﾘﾝｲ 市坪 信一 ＜平成31年4月＞
		ユビキタス無線特論 先端電子工学特論 ※【隔年】 工学講究 工学特別実験
専	准教授	ｲﾜ ﾐﾉ 岩田 稔 ＜平成31年4月＞
		宇宙材料劣化特論 工学講究 工学特別実験
専	准教授	ｳﾏ ﾎﾂ ﾏ 植田 和茂 ＜平成31年4月＞
		精密無機材料合成特論 工学講究 工学特別実験
専	准教授	ﾏﾏﾄ ﾋﾃﾞ ﾏｷ 大門 秀朗 ＜平成31年4月＞
		メゾスコピック系物理学特論 工学講究 工学特別実験
専	准教授	ﾏﾏﾏ ﾘﾝｲ 大塚 信也 ＜平成31年4月＞
		電力システム制御解析特論 先端電気工学特論 ※【隔年】 工学講究 工学特別実験
専	准教授	ｵｶﾅ ﾏｸﾀ 岡内 辰夫 ＜平成31年4月＞
		有機合成化学特論 【隔年】 有機金属化学特論 【隔年】 工学講究 工学特別実験
専	准教授	ｵﾀ ﾏｷ 小田 勝 ＜平成31年4月＞
		ナノ構造光物性特論 工学講究 工学特別実験
専	准教授	ｶﾜ ﾋﾃﾞ ﾏｷ 河野 英昭 ＜平成31年4月＞
		ソフトコンピューティング特論 先端電子工学特論 ※【隔年】 工学講究 工学特別実験
専	准教授	ｶﾜ ﾋﾃﾞ 河部 徹 ＜平成31年4月＞
		応用構造解析特論 工学講究 工学特別実験
専	准教授	ｷﾜ ﾎﾂ 吉川 浩一 ＜平成31年4月＞
		生産情報処理学特論 工学講究 工学特別実験
専	准教授	ｷﾏ ﾎﾂ 北村 貴典 ＜平成31年4月＞
		溶接力学特論 工学講究 工学特別実験

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	市坪 信一 0 ＜平成31年4月＞
		ユビキタス無線特論 先端電子工学特論 ※【隔年】 工学講究 工学特別実験
専	准教授	岩田 稔 0 ＜平成31年4月＞
		宇宙材料劣化特論 工学講究 工学特別実験
専	准教授	植田 和茂 0 ＜平成31年4月＞
		精密無機材料合成特論 工学講究 工学特別実験
専	准教授	大門 秀朗 0 ＜平成31年4月＞
		メゾスコピック系物理学特論 工学講究 工学特別実験
専	准教授	大塚 信也 0 ＜平成31年4月＞
		電力システム制御解析特論 先端電気工学特論 ※【隔年】 工学講究 工学特別実験
専	准教授	岡内 辰夫 0 ＜平成31年4月＞
		有機合成化学特論 【隔年】 有機金属化学特論 【隔年】 工学講究 工学特別実験
専	准教授	小田 勝 0 ＜平成31年4月＞
		ナノ構造光物性特論 工学講究 工学特別実験
専	准教授	河野 英昭 0 ＜平成31年4月＞
		ソフトコンピューティング特論 先端電子工学特論 ※【隔年】 工学講究 工学特別実験
専	准教授	河部 徹 0 ＜平成31年4月＞
		応用構造解析特論 工学講究 工学特別実験
専	准教授	吉川 浩一 0 ＜平成31年4月＞
		生産情報処理学特論 工学講究 工学特別実験
専	准教授	北村 貴典 0 ＜平成31年4月＞
		溶接力学特論 工学講究 工学特別実験

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	カシマ ショウ 黒島 義人 ＜平成31年4月＞
		材料強度学特論 工学講究 工学特別実験
専	准教授	コバ マサヒロ 小迫 雅裕 ＜平成31年4月＞
		誘電体工学特論 先端電気工学特論 ※【隔年】 工学講究 工学特別実験
専	准教授	ゴウガ ヒロキ 合田 寛基 ＜平成31年4月＞
		コンクリート工学特論 工学講究 工学特別実験
専	准教授	イサキ ノブオ 坂井 伸朗 ＜平成31年4月＞
		生体機能設計学特論 工学講究 工学特別実験
専	准教授	サトウ(カヤマ) シノブ 佐藤(高山) しのぶ ＜平成31年4月＞
		バイオ計測学特論 工学講究 工学特別実験
専	准教授	シゲイ ミレイ 重枝 未玲 ＜平成31年4月＞
		河川工学特論 数値水理学 工学講究 工学特別実験
専	准教授	シズミ ヒロキ 清水 浩貴 ＜平成31年4月＞
		計測工学特論 半導体トピックセミナー ※ 工学講究 工学特別実験
専	准教授	シロギ 由紀 城崎 由紀 ＜平成31年4月＞
		生体機能化学特論 工学講究 工学特別実験
専	准教授	タカ トモ 高須 登実男 ＜平成31年4月＞
		材料反応速度特論 工学講究 工学特別実験

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	黒島 義人 0 ＜平成31年4月＞
		材料強度学特論 工学講究 工学特別実験
専	准教授	小迫 雅裕 0 ＜平成31年4月＞
		誘電体工学特論 先端電気工学特論 ※【隔年】 工学講究 工学特別実験
専	准教授	合田 寛基 0 ＜平成31年4月＞
		コンクリート工学特論 工学講究 工学特別実験
専	准教授	齋藤 泰洋 0 ＜平成31年4月＞
		移動現象特論 工学講究 工学特別実験
専	准教授	坂井 伸朗 0 ＜平成31年4月＞
		生体機能設計学特論 工学講究 工学特別実験
専	准教授	佐藤(高山) しのぶ 0 ＜平成31年4月＞
		バイオ計測学特論 工学講究 工学特別実験
専	准教授	重枝 未玲 0 ＜平成31年4月＞
		河川工学特論 数値水理学 工学講究 工学特別実験
専	准教授	清水 浩貴 0 ＜平成31年4月＞
		計測工学特論 半導体トピックセミナー ※ 工学講究 工学特別実験
専	准教授	城崎 由紀 0 ＜平成31年4月＞
		生体機能化学特論 工学講究 工学特別実験
専	准教授	齋 旺耀 0 ＜平成31年4月＞
		建築学特論 建築環境特論 工学講究 工学特別実験
専	准教授	高須 登実男 0 ＜平成31年4月＞
		材料反応速度特論 工学講究 工学特別実験

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	ﾀﾝ ﾂｰｸｲ タン ジュークイ ＜平成31年4月＞
		視覚情報解析特論 工学講究 工学特別実験
専	准教授	ｻｵ ｻﾅﾐ 張 力峰 ＜平成31年4月＞
		画像信号処理特論 先端電子工学特論 ※【隔年】 工学講究 工学特別実験
専	准教授	ﾍﾞﾀ ﾂﾅ 坪田 敏樹 ＜平成31年4月＞
		機能材料創製特論 【隔年】 ナノ材料化学特論 【隔年】 工学講究 工学特別実験
専	准教授	ﾃﾗﾁ ｹｲｲ 寺町 賢一 ＜平成31年4月＞
		バリアフリー交通論 工学講究 工学特別実験
専	准教授	ﾄﾂｶﾞ ﾀﾂﾔ 徳永 辰也 ＜平成31年4月＞
		材料相変態特論 工学講究 工学特別実験
専	准教授	ﾄﾂｶﾞ ﾐﾂﾋﾛ 徳田 光弘 ＜平成31年4月＞
		建築学特論 建築計画特論 エリアマーケティング学 ストックマネジメント学 ストックデザイン演習 工学講究 工学特別実験
専	准教授	ﾄﾂﾀﾞ ｶｽﾞﾋﾛ 豊田 和弘 ＜平成31年4月＞
		宇宙環境技術特論 ※ エネルギー工学特論 工学講究 工学特別実験
専	准教授	
専	准教授	ﾅｶｼ ｹｲｲ 中司 賢一 ＜平成31年4月＞
		電子回路設計特論 先端電子工学特論 ※【隔年】 半導体トピックセミナー ※ 工学講究 工学特別実験
専	准教授	ﾅｶﾑﾗ ｶｽﾞﾏ 中村 和磨 ＜平成31年4月＞
		固体物理学特論 工学講究 工学特別実験

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	ﾀﾝ ﾂｰｸｲ 0 ＜平成31年4月＞
		視覚情報解析特論 工学講究 工学特別実験
専	准教授	張 力峰 0 ＜平成31年4月＞
		画像信号処理特論 先端電子工学特論 ※【隔年】 工学講究 工学特別実験
専	准教授	坪田 敏樹 0 ＜平成31年4月＞
		機能材料創製特論 【隔年】 ナノ材料化学特論 【隔年】 工学講究 工学特別実験
専	准教授	寺町 賢一 0 ＜平成31年4月＞
		バリアフリー交通論 工学講究 工学特別実験
専	准教授	徳永 辰也 0 ＜平成31年4月＞
		材料相変態特論 工学講究 工学特別実験
専	准教授	徳田 光弘 0 ＜平成31年4月＞
		建築学特論 建築計画特論 エリアマーケティング学 ストックマネジメント学 ストックデザイン演習 工学講究 工学特別実験
専	准教授	豊田 和弘 0 ＜平成31年4月＞
		宇宙環境技術特論 ※ エネルギー工学特論 工学講究 工学特別実験
専	准教授	永岡 健司 0 ＜平成31年4月＞
		工学講究 工学特別実験
専	准教授	中司 賢一 0 ＜平成31年4月＞
		電子回路設計特論 先端電子工学特論 ※【隔年】 半導体トピックセミナー ※ 工学講究 工学特別実験
専	准教授	中村 和磨 0 ＜平成31年4月＞
		固体物理学特論 工学講究 工学特別実験

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	ニシダ ケン 西田 健 ＜平成31年4月＞
		確率システム制御特論 工学講究 工学特別実験
専	准教授	ノダ ケン 野田 尚廣 ＜平成31年4月＞
		現代数学特論 ※ 応用幾何学特論 工学講究 工学特別実験
専	准教授	ハナヅメ アキラ 花沢 明俊 ＜平成31年4月＞
		視覚画像認識特論 工学講究 工学特別実験
専	准教授	ヒビノ マコト 日比野 誠 ＜平成31年4月＞
		建設材料科学 工学講究 工学特別実験
専	准教授	ヒラノ トシユキ 平之内 俊郎 ＜平成31年4月＞
		現代数学特論 ※ 応用代数学特論 工学講究 工学特別実験
専	准教授	カサネ トシユキ 堀出 朋哉 ＜平成31年4月＞
		薄膜材料科学特論 工学講究 工学特別実験
専	准教授	カサネ トシユキ 堀部 陽一 ＜平成31年4月＞
		構造相転移学特論 工学講究 工学特別実験
専	准教授	マツマ ツトム 松嶋 徹 ＜平成31年4月＞
		環境電磁工学特論 回路実装・システム設計特論 先端電子工学特論 ※【隔年】 工学講究 工学特別実験
専	准教授	マツタ ケイジ 松平 和之 ＜平成31年4月＞
		電子物性基礎論 先端電気工学特論 ※【隔年】 工学講究 工学特別実験
専	准教授	ミヅキ ミツヲ 水町 光徳 ＜平成31年4月＞
		音響信号処理特論 先端電子工学特論 ※【隔年】 工学講究 工学特別実験
専	准教授	ミヅモト 元喜 三浦 元喜 ＜平成31年4月＞
		ソフトウェア設計開発特論 工学講究 工学特別実験

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	ニシダ ケン 西田 健 0 ＜平成31年4月＞
		確率システム制御特論 工学講究 工学特別実験
専	准教授	ノダ ケン 野田 尚廣 0 ＜平成31年4月＞
		現代数学特論 ※ 応用幾何学特論 工学講究 工学特別実験
専	准教授	ハナヅメ アキラ 花沢 明俊 0 ＜平成31年4月＞
		視覚画像認識特論 工学講究 工学特別実験
専	准教授	ヒビノ マコト 日比野 誠 0 ＜平成31年4月＞
		建設材料科学 工学講究 工学特別実験
専	准教授	ヒラノ トシユキ 平之内 俊郎 0 ＜平成31年4月＞
		現代数学特論 ※ 応用代数学特論 工学講究 工学特別実験
専	准教授	カサネ トシユキ 堀出 朋哉 0 ＜平成31年4月＞
		薄膜材料科学特論 工学講究 工学特別実験
専	准教授	カサネ トシユキ 堀部 陽一 0 ＜平成31年4月＞
		構造相転移学特論 工学講究 工学特別実験
専	准教授	マツマ ツトム 松嶋 徹 0 ＜平成31年4月＞
		環境電磁工学特論 回路実装・システム設計特論 先端電子工学特論 ※【隔年】 工学講究 工学特別実験
専	教授	マツタ ケイジ 松平 和之 0 ＜平成31年4月＞
		電子物性基礎論 先端電気工学特論 ※【隔年】 工学講究 工学特別実験
専	准教授	ミヅキ ミツヲ 水町 光徳 0 ＜平成31年4月＞
		音響信号処理特論 先端電子工学特論 ※【隔年】 工学講究 工学特別実験
専	准教授	ミヅモト 元喜 三浦 元喜 0 ＜平成31年4月＞
		ソフトウェア設計開発特論 工学講究 工学特別実験

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
			専 准教授		本塚 智 0 ＜平成31年4月＞
					工学講究 工学特別実験
専	准教授	モリグチ 哲次 森口 哲次 ＜平成31年4月＞	専	准教授	森口 哲次 0 ＜平成31年4月＞
		錯体化学特論 工学講究 工学特別実験			錯体化学特論 工学講究 工学特別実験
専	准教授	ヤブキ トモ子 矢吹 智英 ＜平成31年4月＞	専	准教授	矢吹 智英 0 ＜平成31年4月＞
		熱流体力学特論 半導体トピックセミナー ※ 工学講究 工学特別実験			熱流体力学特論 半導体トピックセミナー ※ 工学講究 工学特別実験
専	准教授	ヤマダ 彰 山脇 彰 ＜平成31年4月＞	専	准教授	山脇 彰 0 ＜平成31年4月＞
		ディジタル回路システム特論 先端電子工学特論 ※【隔年】 工学講究 工学特別実験			ディジタル回路システム特論 先端電子工学特論 ※【隔年】 工学講究 工学特別実験
専	准教授	ヤマグチ トモ子 山口 富子 ＜平成31年4月＞	専	准教授	山口 富子 0 ＜平成31年4月＞
		表面改質工学特論 工学講究 工学特別実験			表面改質工学特論 工学講究 工学特別実験
専	准教授	ヨコヤマ ケンイチ 横山 賢一 ＜平成31年4月＞	専	准教授	横山 賢一 0 ＜平成31年4月＞
		環境材料強度学特論 工学講究 工学特別実験			環境材料強度学特論 工学講究 工学特別実験
専	准教授	ワカバ トシ 若狭 徹 ＜平成31年4月＞	専	准教授	若狭 徹 0 ＜平成31年4月＞
		現代数学特論 ※ 応用解析特論 工学講究 工学特別実験			現代数学特論 ※ 応用解析特論 工学講究 工学特別実験
専	准教授	ワザグチ ヒロシ 脇迫 仁 ＜平成31年4月＞	専	准教授	脇迫 仁 0 ＜平成31年4月＞
		ディジタル信号処理特論 工学講究 工学特別実験			ディジタル信号処理特論 工学講究 工学特別実験
専	准教授	ワサバ シンジ 渡辺 真仁 ＜平成31年4月＞	専	准教授	渡辺 真仁 0 ＜平成31年4月＞
		物性物理学特論 工学講究 工学特別実験			物性物理学特論 工学講究 工学特別実験
専	准教授	ワサバ マサキ 渡邊 政幸 ＜平成31年4月＞	専	准教授	渡邊 政幸 0 ＜平成31年4月＞
		電力制御特論 先端電気工学特論 ※【隔年】 工学講究 工学特別実験			電力制御特論 先端電気工学特論 ※【隔年】 工学講究 工学特別実験
専	講師	イノベ イチ 猪平 栄一 ＜平成31年4月＞	専	講師	猪平 栄一 0 ＜平成31年4月＞
		強化学習特論 工学講究 工学特別実験			強化学習特論 工学講究 工学特別実験

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	嘱託教育職員（教授）	サマ オム 佐久間 治 ＜平成31年4月＞
		建築学特論 建築デザイン特論
兼任	教授	アブドウハン 恭子 アブドウハン 恭子 ＜平成31年4月＞
		日本語Ⅰ 日本語Ⅱ
兼任	教授	アヤマ ムサ 有馬 裕 ＜平成31年4月＞
		半導体トピックセミナー ※
兼任	教授	イトリ タカロ 伊藤 高廣 ＜平成31年4月＞
		半導体トピックセミナー ※
兼任	教授	オムラ 一郎 大村 一郎 ＜平成31年4月＞
		半導体トピックセミナー ※
兼任	教授	オムラ 和之 中村 和之 ＜平成31年4月＞
		半導体トピックセミナー ※
兼任	教授	ヒガシノ ミカリ 東野 充成 ＜平成31年4月＞
		持続可能社会と教育特論 【隔年】 マイノリティの人権特論 【隔年】
兼任	教授	ホンダ イサオ 本田 造夫 ＜平成31年4月＞
		史的文明論と社会論Ⅰ 史的文明論と社会論Ⅱ
兼任	教授	ミヅイ マリコ 水井 万里子 ＜平成31年4月＞
		近現代産業文化史特論 【隔年】 ジェンダー史特論 【隔年】
兼任	教授	ミヤギ トシ 宮崎 敏樹 ＜平成31年4月＞
		先進セラミックス特論
兼任	教授	ラウラストン イフ チョー ラウラストン イフ チョー ＜平成31年4月＞
		英語ⅦC 英語ⅧA 英語ⅧA 英語ⅧB

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	嘱託教育職員（教授）	佐久間 治 0 ＜平成31年4月＞
		建築学特論 建築デザイン特論
兼任	教授	アブドウハン 恭子 0 ＜平成31年4月＞
		日本語Ⅰ 日本語Ⅱ
兼任	教授	有馬 裕 0 ＜平成31年4月＞
		半導体トピックセミナー ※
兼任	教授	伊藤 高廣 0 ＜平成31年4月＞
		半導体トピックセミナー ※
兼任	教授	大村 一郎 0 ＜平成31年4月＞
		半導体トピックセミナー ※
兼任	教授	中村 和之 0 ＜平成31年4月＞
		半導体トピックセミナー ※
兼任	教授	東野 充成 0 ＜平成31年4月＞
		持続可能社会と教育特論 【隔年】 マイノリティの人権特論 【隔年】
兼任	教授	本田 造夫 0 ＜平成31年4月＞
		史的文明論と社会論Ⅰ 史的文明論と社会論Ⅱ
兼任	教授	水井 万里子 0 ＜平成31年4月＞
		近現代産業文化史特論 【隔年】 ジェンダー史特論 【隔年】
兼任	教授	宮崎 敏樹 0 ＜平成31年4月＞
		先進セラミックス特論
兼任	教授	ラウラストン イフ チョー 0 ＜平成31年4月＞
		英語ⅦC 英語ⅧA 英語ⅧA 英語ⅧB

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	渡邊 浩明 0 ＜平成31年4月＞	兼任	教授	渡邊 浩明 0 ＜平成31年4月＞
		英語Ⅵ D 英語Ⅶ D 選択英語 1 T 選択英語 2 T 選択英語 3 T 選択英語 4 T			英語Ⅵ D 英語Ⅶ D 選択英語 1 T 選択英語 2 T 選択英語 3 T 選択英語 4 T
兼任	准教授	小江 茂徳 0 ＜平成31年4月＞	兼任	准教授	小江 茂徳 0 ＜平成31年4月＞
		産業組織特論 A【隔年】 産業組織特論 B【隔年】			産業組織特論 A【隔年】 産業組織特論 B【隔年】
兼任	准教授	大田 真彦 0 ＜平成31年4月＞	兼任	准教授	大田 真彦 0 ＜平成31年4月＞
		環境学特論			環境学特論
兼任	准教授	大坪 文隆 0 ＜平成31年4月＞	兼任	准教授	大坪 文隆 0 ＜平成31年4月＞
		非平衡材料分析学特論			非平衡材料分析学特論
兼任	准教授 (専門職)	萩原 康幸 0 ＜平成31年4月＞	兼任	准教授 (専門職)	萩原 康幸 0 ＜平成31年4月＞
		知的財産論 ※			知的財産論 ※
兼任	准教授	坂本 憲児 0 ＜平成31年4月＞	兼任	准教授	坂本 憲児 0 ＜平成31年4月＞
		半導体トピックセミナー ※			半導体トピックセミナー ※
兼任	准教授	佐藤(分部) 友美 0 ＜平成31年4月＞	兼任	准教授	佐藤(分部) 友美 0 ＜平成31年4月＞
		メンタルヘルス論			メンタルヘルス論
兼任	准教授	田向 権 0 ＜平成31年4月＞	兼任	准教授	田向 権 0 ＜平成31年4月＞
		半導体トピックセミナー ※			半導体トピックセミナー ※
兼任	准教授	永松 秀一 0 ＜平成31年4月＞	兼任	准教授	永松 秀一 0 ＜平成31年4月＞
		半導体トピックセミナー ※			半導体トピックセミナー ※
兼任	准教授	中村 雅之 0 ＜平成31年4月＞	兼任	准教授	中村 雅之 0 ＜平成31年4月＞
		現代哲学概論			現代哲学概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	ハ ハ 743シ 馬場 昭好 ＜平成31年4月＞	兼任	教授	馬場 昭好 0 ＜平成31年4月＞
		半導体トピックセミナー ※			半導体トピックセミナー ※
兼任	准教授	わが ノアキ 本多 信幸 ＜平成31年4月＞	兼任	准教授	本多 信幸 0 ＜平成31年4月＞
		MOT 特論 ※			MOT 特論 ※
兼任	准教授	ミヤ 3044 宮瀬 紘平 ＜平成31年4月＞	兼任	准教授	宮瀬 紘平 0 ＜平成31年4月＞
		半導体トピックセミナー ※			半導体トピックセミナー ※
兼任	准教授	ロダ Ⅲ 0477 ロダ Ⅲ 0477 ＜平成31年4月＞	兼任	教授	ロダ Ⅲ 0477 0 ＜平成31年4月＞
		英語Ⅷ A 英語Ⅷ D 英語Ⅷ X D			英語Ⅷ A 英語Ⅷ D 英語Ⅷ X D
兼任	准教授	ワタ 5077 我妻 広明 ＜平成31年4月＞	兼任	准教授	我妻 広明 0 ＜平成31年4月＞
		人工知能入門			人工知能入門
兼任	特任教授	チウ カサ 柳楽 隆昌 ＜平成31年4月＞	兼任	特任教授	柳楽 隆昌 0 ＜平成31年4月＞
		知的財産論 ※			知的財産論 ※
兼任	特任教授	フキ 3470 福本 幸弘 ＜平成31年4月＞	兼任	特任教授	福本 幸弘 0 ＜平成31年4月＞
		回路実装・システム設計特論			回路実装・システム設計特論
兼任	講師	アハ ケ 穴井 謙 ＜平成31年4月＞			
		建築環境特論 【隔年】			
兼任	講師	イノ ケジ 飯野 謙次 ＜平成31年4月＞	兼任	講師	飯野 謙次 0 ＜平成31年4月＞
		開発プロジェクト特論 ※			開発プロジェクト特論 ※
兼任	講師	イノ トモ 石川 朋子 ＜平成31年4月＞	兼任	講師	石川 朋子 0 ＜平成31年4月＞
		日本語入門			日本語入門
兼任	講師	イノ 470 石橋 一郎 ＜平成31年4月＞	兼任	講師	石橋 一郎 0 ＜平成31年4月＞
		知的財産論 ※			知的財産論 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師		イライ ミシル 今泉 充 ＜平成31年4月＞
		衛星電力システム特論Ⅰ ※
兼任 講師		ウチノ シンジ 内田 真治 ＜平成31年4月＞
		先端産業システム特論 ※
兼任 講師		オノ マサヒロ 大野 正博 ＜平成31年4月＞
		宇宙航空システム特論 ※
兼任 講師		オノ モトミ 小野 基海 ＜平成31年4月＞
		MOT 特論 ※
兼任 講師		カサハ マサヒロ 角中 正博 ＜平成31年4月＞
		MOT 特論 ※
兼任 講師		カサハ シロウ 川北 史朗 ＜平成31年4月＞
		衛星電力システム特論Ⅰ ※
兼任 講師		カワラ ケンキ 川原 邦博 ＜平成31年4月＞
		自動車工学特論Ⅰ ※ 自動車工学特論Ⅱ ※
兼任 講師		キタ ヒロシ 城戸 宏史 ＜平成31年4月＞
		MOT 特論 ※
兼任 講師		キタ ユウゴ 木本 雄吾 ＜平成31年4月＞
		宇宙環境技術特論 ※
兼任 講師		ケン分 ヒロキ 舩分 宏昌 ＜平成31年4月＞
		衛星電力システム特論Ⅱ ※
兼任 講師		クボ マサキ 久保 正幸 ＜平成31年4月＞
		宇宙航空システム特論 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 講師		今泉 充 0 ＜平成31年4月＞
		衛星電力システム特論Ⅰ ※
兼任 講師		内田 真治 0 ＜平成31年4月＞
		先端産業システム特論 ※
兼任 講師		大野 正博 0 ＜平成31年4月＞
		宇宙航空システム特論 ※
兼任 講師		小野 基海 0 ＜平成31年4月＞
		MOT 特論 ※
兼任 講師		角中 正博 0 ＜平成31年4月＞
		MOT 特論 ※
兼任 講師		川北 史朗 0 ＜平成31年4月＞
		衛星電力システム特論Ⅰ ※
兼任 講師		
兼任 講師		城戸 宏史 0 ＜平成31年4月＞
		MOT 特論 ※
兼任 講師		木本 雄吾 0 ＜平成31年4月＞
		宇宙環境技術特論 ※
兼任 講師		舩分 宏昌 0 ＜平成31年4月＞
		衛星電力システム特論Ⅱ ※
兼任 講師		久保 正幸 0 ＜平成31年4月＞
		宇宙航空システム特論 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	久保田 孝 0 ＜平成31年4月＞	兼任	講師	久保田 孝 0 ＜平成31年4月＞
		宇宙航空システム特論 ※			宇宙航空システム特論 ※
兼任	講師	古賀 清一 0 ＜平成31年4月＞	兼任	講師	古賀 清一 0 ＜平成31年4月＞
		宇宙環境技術特論 ※			宇宙環境技術特論 ※
兼任	講師	後郷 和彦 0 ＜平成31年4月＞	兼任	講師	後郷 和彦 0 ＜平成31年4月＞
		先端産業システム特論 ※			先端産業システム特論 ※
			兼任	講師	近野 泰 0 ＜平成31年4月＞
					開発プロジェクト特論 ※
兼任	講師	佐伯 心高 0 ＜平成31年4月＞			
		M O T 特論 ※			
兼任	講師	坂本 雅宏 0 ＜平成31年4月＞			
		先端産業システム特論 ※			
			兼任	講師	佐々木 伸也 0 ＜平成31年4月＞
					自動車工学特論Ⅱ ※
兼任	講師	佐々木 高幸 0 ＜平成31年4月＞	兼任	講師	佐々木 高幸 0 ＜平成31年4月＞
		先端産業システム特論 ※			先端産業システム特論 ※
兼任	講師	佐藤 和也 0 ＜平成31年4月＞	兼任	講師	佐藤 和也 0 ＜平成31年4月＞
		制御系構成特論			制御系構成特論
兼任	講師	白木 邦明 0 ＜平成31年4月＞	兼任	講師	白木 邦明 (72) ＜平成31年4月＞
		宇宙システム工学Ⅰ 宇宙システム工学Ⅱ			宇宙システム工学Ⅰ 宇宙システム工学Ⅱ
兼任	講師	下田 正寛 0 ＜平成31年4月＞	兼任	講師	下田 正寛 0 ＜平成31年4月＞
		知的財産論 ※			知的財産論 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	ｽﾏﾂ ﾏｼ 角南 篤 ＜平成31年4月＞	兼任	講師	角南 篤 0 ＜平成31年4月＞
		開発プロジェクト特論 ※			開発プロジェクト特論 ※
兼任	講師	ｳﾂｷ ｼｭｳｼ 曾根崎 修司 ＜平成31年4月＞	兼任	講師	曾根崎 修司 0 ＜平成31年4月＞
		MOT 特論 ※			MOT 特論 ※
			兼任	講師	高井 努 0 ＜平成31年4月＞
					宇宙航空システム特論 ※
兼任	講師	ﾀｶﾀ ﾏﾓﾙ 高田 守 ＜平成31年4月＞			
		自動車工学特論Ⅰ ※ 自動車工学特論Ⅱ ※			
兼任	講師	ﾀｶﾊｼ ﾋﾂｼﾞﾏ 高橋 秀直 ＜平成31年4月＞	兼任	講師	高橋 秀直 0 ＜平成31年4月＞
		MOT 特論 ※			MOT 特論 ※
兼任	講師	ﾀﾉｳ ﾙｶ 田上 裕 ＜平成31年4月＞	兼任	講師	田上 裕 0 ＜平成31年4月＞
		地盤シミュレーション工学 【隔年】			地盤シミュレーション工学 【隔年】
兼任	講師	ﾄｳﾘﾍﾞ ｱｷ 鳥取部 真己 ＜平成31年4月＞	兼任	講師	鳥取部 真己 0 ＜平成31年4月＞
		MOT 特論 ※			MOT 特論 ※
兼任	講師	ﾄﾖﾀﾞ ﾁｬｳｼﾝ 豊田 昌信 ＜平成31年4月＞	兼任	講師	豊田 昌信 0 ＜平成31年4月＞
		先端産業システム特論 ※			先端産業システム特論 ※
兼任	講師	ｵｻﾄｳ ﾋﾄｼ 内藤 均 ＜平成31年4月＞	兼任	講師	内藤 均 0 ＜平成31年4月＞
		衛星電力システム特論Ⅱ ※			衛星電力システム特論Ⅱ ※
兼任	講師	ﾅｶﾑﾗ ｹｲｽｹ 中村 亮介 ＜平成31年4月＞	兼任	講師	中村 亮介 0 ＜平成31年4月＞
		MOT 特論 ※			MOT 特論 ※
兼任	講師	ﾆｼｵ ｶｽﾞ 西尾 一政 ＜平成31年4月＞	兼任	講師	西尾 一政 (71) ＜平成31年4月＞
		マテリアル複合工学特論			マテリアル複合工学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	ニシザワ シロウ 西澤 誌朗 ＜平成31年4月＞	兼任	講師	西澤 誌朗 0 ＜平成31年4月＞
		自動車工学特論Ⅰ ※ 自動車工学特論Ⅱ ※			自動車工学特論Ⅰ ※ 自動車工学特論Ⅱ ※
兼任	講師	ニシヤマ シュウキ 西山 忠克 ＜平成31年4月＞	兼任	講師	西山 忠克 0 ＜平成31年4月＞
		知的財産論 ※			知的財産論 ※
兼任	講師	ニシノ 章 任 章 ＜平成31年4月＞	兼任	講師	任 章 0 ＜平成31年4月＞
		MOT特論 ※			MOT特論 ※
兼任	講師	ノダキ ユウシロウ 野崎 幸重 ＜平成31年4月＞	兼任	講師	野崎 幸重 0 ＜平成31年4月＞
		衛星電力システム特論Ⅰ ※			衛星電力システム特論Ⅰ ※
兼任	講師	ヒヤシタ リョウマ 冷水 陵馬 ＜平成31年4月＞			
		宇宙航空システム特論 ※			
			兼任 講師		藤本 増彦 0 ＜平成31年4月＞
					自動車工学特論Ⅱ ※
兼任	講師	マツダ カズキ 松田 一也 ＜平成31年4月＞			
		MOT特論 ※			
兼任	講師	マノ タカシ 真野 毅 ＜平成31年4月＞	兼任	講師	真野 毅 0 ＜平成31年4月＞
		宇宙航空システム特論 ※			宇宙航空システム特論 ※
兼任	講師	ミハラ ショウイチロウ 三原 荘一郎 ＜平成31年4月＞	兼任	講師	三原 荘一郎 0 ＜平成31年4月＞
		宇宙航空システム特論 ※			宇宙航空システム特論 ※
			兼任 講師		村上 信之 0 ＜平成31年4月＞
					自動車工学特論Ⅰ ※
兼任	講師	ヤシユウ シンリ 柳生 佳則 ＜平成31年4月＞			
		開発プロジェクト特論 ※			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	ヤマト マサル 山本 正治 ＜平成31年4月＞	兼任	講師	山本 正治 (72) ＜平成31年4月＞
		開発プロジェクト特論 ※			開発プロジェクト特論 ※
兼任	講師	シカワ 才村 吉川 直樹 ＜平成31年4月＞	兼任	講師	吉川 直樹 0 ＜平成31年4月＞
		先端産業システム特論 ※			先端産業システム特論 ※
兼任	講師	ミナモト コウイチ 米本 浩一 ＜平成31年4月＞	兼任	講師	米本 浩一 0 ＜平成31年4月＞
		航空宇宙の誘導制御学特論 開発プロジェクト特論 ※			航空宇宙の誘導制御学特論

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・教員配置の見直しにより、専任の石丸教授の担当授業科目変更。
- ・教員配置の見直しにより、専任の竹中教授の担当授業科目変更。
- ・教員配置の見直しにより、専任の中戸教授の担当授業科目変更。
- ・教員配置の見直しにより、専任の松本教授の担当授業科目変更。
- ・教員配置の見直しにより、専任の齋藤准教授が新たに就任。
- ・教員配置の見直しにより、専任の趙准教授が新たに就任。
- ・教員配置の見直しにより、専任の永岡准教授が新たに就任。
- ・教員異動に伴い、専任の松平准教授が教授に昇格。
- ・教員配置の見直しにより、専任の本塚准教授が新たに就任。
- ・教員配置の見直しにより、兼任の馬場准教授が教授に昇格。
- ・教員配置の見直しにより、兼任のロング准教授が教授に昇格。
- ・兼任予定教員の辞退により、穴井講師の就任見送り。
- ・兼任予定教員の辞退により、川原講師の就任見送り。
- ・教員配置の見直しにより、兼任の近野講師が就任。
- ・兼任予定教員の辞退により、佐伯講師の就任見送り。
- ・兼任予定教員の辞退により、坂本講師の就任見送り。
- ・教員配置の見直しにより、兼任の佐々木講師が就任。
- ・教員配置の見直しにより、兼任の高井講師が就任。
- ・兼任予定教員の辞退により、高田講師の就任見送り。
- ・兼任予定教員の辞退により、冷水講師の就任見送り。
- ・教員配置の見直しにより、兼任の藤本講師が就任。
- ・兼任予定教員の辞退により、松田講師の就任見送り。
- ・教員配置の見直しにより、兼任の村上講師が就任。
- ・兼任予定教員の辞退により、柳井講師の就任見送り。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
40	27	13
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学院】

設 置 時 の 計 画					現在（報告時）の状況				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)
54	51	1	0	106	55	54	1	0	110
(54)	(51)	(1)	(0)	(106)					
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
105	0	1			109	0	1		
(105)	(0)	(1)							
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)
55	54	1	0	110	55	54	1	0	110
[1]	[3]	[-]	[-]	[4]	[1]	[3]	[-]	[-]	[4]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
109	0	1			109	0	1		
[4]	[-]	[-]			[4]	[-]	[-]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年 齢 構 成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員の うち、定年を延長 して採用する教員数
63	2	2
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{110}{106} = \boxed{103.77} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{2}{110} = \boxed{1.81} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	教授	◎◎ ◎◎	H00. 10	必修	○○概論	①	H00. 0……………のため就任辞退（29）						
				選択	◆◆基礎	②							
				必修	該当なし	③							
2	准教授	△△ △△	H30. 12	自由		②	H30. 12……………のため就任辞退（元）						
				必修	▲▲実習	③							
				必修	◇◇特論	①							
合計（D）						後任補充状況の集計（E）							
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）				①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1	教授	◎◎ ◎◎	H29.3	必修	○○概論	①	H29.3.31付け……………のため辞任（29）						
				選択	◆◆基礎	②							
				必修	該当なし	③							
2	准教授	△△ △△	H31.3	自由		②	H31.3.31付け……………のため辞任（元）						
				必修	▲▲実習	③							
				必修	◇◇特論	①							
合 計（ F ）						後任補充状況の集計（ G ）							
辞任した教員数		担当科目数の合計（ a ） + （ b ） + （ c ）				①の合計数（ a ）		②の合計数（ b ）		③の合計数（ c ）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）＋（F）				後任補充状況の集計（E）＋（G）							
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{0}{106} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別		担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
1	教授	◎◎ ◎◎	必修		○○概論	①	H29.3.31付け65歳で定年退職 (29)							
			選択		◆◆基礎	②								
			必修		該当なし									
2	准教授	△△ △△	自由		××××	②	H31.3.31付け65歳で定年退職 (元)							
			必修		▲▲実習	③								
			必修		◇◇特論	①								
合計						後任補充状況の集計								
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)				
0	人		必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
			計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等		履 行 状 況		今後の の実施計画
認 可 時 (令和元年)	該当なし	留意事項			

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<大学院工学府 工学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・九州工業大学大学院工学府・工学部教育方法等開発室運営会議

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・年3回開催（平成30年度実績）（副工学部長、工学部事務長、各学科長等8名）

c 委員会の審議事項等

- ・教育の内容及び方法の改善に関すること。
- ・教育職員の教育に関する研修等の実施に関すること。

② 実施状況

a 実施内容

- ・FD研修会
- ・授業アンケート等
- ・公開授業
- ・学生と教員との懇談会
- ・教員の表彰制度

b 実施方法

- ・FD研修会
より多くの教員に参加してもらうため、教授会の一部の時間帯を使用して開催している。
また、教授会の時間帯に参加できない教員（助教）にも参加してもらうため、別日を設けて開催した。
- ・公開授業
各クォーターで実施し、参観教員から提出された記録シートはPDCAのため、授業担当教員あて提供している。
- ・学生と教員との懇談会
学生の率直な意見を今後の教育改革や学生支援に役立てることを目的として毎年開催している。
大学院工学府・工学部教育方法等開発室員の教員と学生が予め決められたテーマを中心に意見交換を行っている。
- ・教員の表彰制度
各学科・コースの規程等により表彰教員を決定している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

・FD研修会

第1回は6月27日（水）教授会の一部の時間帯を使用し開催、戸畑キャンパスの参加者は77名であった。

第2回は12月18日（火）に開催、戸畑キャンパスの参加者は36名であった。実験等で教授会の時間帯に参加できない助教の先生から多くの参加があった。

第3回は1月30日（水）教授会教授会の一部の時間帯を使用し開催、戸畑キャンパスの参加者は66名であった。

・公開授業（各クォーターにおいて実施される全授業）

各クォーターにおいて実施（年4回）

平成30年度実績：5/7-18, 7/2-13, 10/29-11/9, 1/15-28

・学生と教員との懇談会

平成30年度は対象学年を学部3, 4年生とし、①講義について（わかりやすさ、工夫されている点や改善点）、②勉強する上で工夫している点、③大学院への進学等についてとし、平成30年11月26日（月）に開催した。

参加者／教員6名、学生15名 計21名

・教員の表彰制度

現在、検討中や試行中の学科・コースもあり、学部全学科・コース等で実施されていないが、表彰対象となった講義は、次年度同時期（各クォーター）の公開授業で参考授業として紹介している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

・平成30年度は特になし。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

・各クォーターにおいて実施（年4回、匿名にて回答）

・平成30年度実績：5/28-6/15, 7/17-8/8, 11/26-12/7, 2/12-3/4

b 教員や学生への公開状況、方法等

・教員は紙ベースの回答結果及び教務情報システムにより内容を確認することができる。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

- a 委員会の設置状況（各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む）

該当なし

- b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

- c 委員会の審議事項等

- d その他

② 審議状況

- a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

- b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

- c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的の達成に向けて、計画どおり実施している。引き続き、教育研究の質の向上を図りつつ、設置の趣旨・目的の実現に向けて取り組むこととしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

平成31年5月末公表（自己点検・評価報告書「現状と課題」平成29年度版）

b 公表方法

自己点検・評価報告書「現状と課題」を毎年度刊行し、大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

令和3年度に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ ☒ 有 ・ ☐ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年 6月 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

（注）・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。